のうきょうだより

美しい田園都市、
新しい「農」の力。

URL:http://jasinjyosi.jp/

No. 336
4月号
2023

新庄市
新庄市沖の町5番55号
TEL.0233-22-3966 FAX.0233-22-3503

目　次

2p～7p　地区座談会
8p～9p　部会総会
10p～11p　トピックス
12p～15p　お知らせとご報告
16p 新採職員紹介

サクラの花

令和4年度 地区座談会における 質問・意見

地区座談会 出席状況

3月7日	
新庄地区	22名
稲舟地区	8名
3月8日	
八向地区	17名
本合海地区	3名
計	50名

◎支部長の果たす役割についてと、支部長手当は何に対しての手当なのでしょうか。

・支部の取りまとめと情報提供、一番大きな役割は3年に一度の役員改選時の役員推薦です。毎年支部長の代表の方には、役員報酬の審議にも参加していただいております。手当については、以前は4万円でしたが、現在は2万円に減額しています。減額した2万円については支部長会と協議し、のうきょうだよりを送付するメール便の送料に充当しています。手当については、年に何回か出席いただいている会議等の日当と理解していただきたいです。

◎「人参」「直播」の事業について、今後も継続して拡大する為に、毎年PDCAサイクルを数値化し、総会でも目標値を示し取り組んでほしい。

・「人参」の栽培については、水田に向かない農地の利用、遊休農地の利用をし補助事業を使い普及拡大に努めていますが、品質については、かなり良いものが生産されるようになり、県内のスーパーで全量販売していただいています。

「直播」については、取り組む方が拡大しており、今年は補助事業で1台増やし今後も普及拡大に努めます。総会で示している計画については、毎年役員も交えて検証し、次年度計画を策定するうえで参考にし、チェック、改善、策定、実行という手順をふんでいます。計画で目標数値を示し、自己改革についても数値化し総会資料にのせていただいています。

◎繁忙期に農機自動車センターの職員の早出対応はできませんか。

・現在3名での体制で、繁忙期には土・日も交替で対応しており、現状では難しい状況ですが、できるだけ対応させていただきますのでご理解願います。

◎人・農地プランの話し合いに、依頼がきた場合対応の準備はありますか。

・積極的に参加させていただきます。農協でもっている情報についても提供できるものはあると思われますので、ご依頼があれば参加させていただきます。

◎土壌調査の結果はいつ報告があり、肥料設計はありますか。

・随時報告しております。3月中には全ての方へ報告できるものと見込んでいます。足りない成分と、補填数量、製品の紹介などの情報も一緒に提供しています。

◎総会の組合員の出席状況について、なぜ出席者が少ないのか、農協側の考えと今後の対策はありますか。

・3年間コロナ禍により、人数制限をしての開催でしたが、今年は文化会館の大ホールでの開催を予定しています。約1300名の組合員の中で、営農活動を行っている組合員が400名程です。例年実出席300名前後です。農業に携わっている状況です。営農の方には出席いただいている状況です。営農活動を行っていない組合員の方との結びつきがうすくなってきているので、新たな課題として考えています。

◎小作をお願いしていたが、継続してもらえないことになり、何かいい案はないですか。

・このような相談は増えてきておりますので、個々に相談いただけたら対応いたします。

◎支部長について、人数が少ない地区を合併し支部長の人数を減らすことは可能ですか。

・以前も合併について取り組んだ経緯があります。地区の事情、役員改選時の定数、役員の地区推薦も15から13に減らしています。

農協側としては難しい課題でありますが、以前とは状況も変わってきていますので、支部長さんと協議をしていきたいと思います。

◎フレコン出荷の目標が7割となっていますが、米倉庫の中の7割なのか、今の現状だと大規模農家は多くはなく、2・3町歩の農家が多いわけでフレコン出荷の場合だと、フォークリフトの問題があるがその場合は、出荷側で準備してくれるのか、できないとなると7割は難しいのではないですか。

・買い手側からは、紙袋よりもフレコンでほしいとの要望が強く、小さい小売店が少なくなってきておりフレコンでの需要が高まっています。それに応えるために大規模農家にはフレコン設備を導入していただく、或いは小・中規模農家の方には、できるだけライスセンターを利用していただき、紙袋からフレコンに切り替えていく流れをつくり、時代にあわせていかなければならないと感じています。消費者、買い手側の事情に沿った集荷方向を伝えていきます。

◎就農して40年になるが、今が一番大変だと感じています。農家が少しでも良くなるような努力をしていただくようお願いします。

・おかげさまで当農協の米はひきあげが強く、8月には倉庫が空になっている状態で、非常に高く評価されています。9月には最終清算が終わっている状況ですので、美味しい米をたくさん作って出荷していただきたいと思います。優秀なお米を作り出荷していただきありがとうございます。

◎補助金等の案内が行政から届きますが、農協からの申請の呼びかけをしていただきありがとうございました。今後ともサポートよろしくお願いします。

・届出の件数から把握し、申請忘れないか確認させていただきました。今後も補助金等の情報は、わかりやすく提供させていただきますので、周りの方にも広めていただくようお願いします。

◎栽培管理システムについて、圃場の場所確認機能があるようですが、ヘリ防除の際現在札を立てているが、これを利用すれば札をたてなくて済むのではないか、また栽培履歴の提出も不要になるようにできないか、業者の方と協議していただき、機能を最大限活かせるようお願いしたいです。

・業者の方と協議し、具体的な機能の確認をし、時期までに活用できるようにしていきます。工程管理表については、紙ベースのものに転記できるように話しを詰めているいる状況ですので、活用をお願いします。

◎新庄市内には現在2か所産直施設があり、今後道の駅が建設され産直が機能することが予想されますが、生産者が限られている中で、競争になり産直いなふねが機能しなくならないか、道の駅等、農業生産者が関わる施設をつくる時、行政から意見を求められることはありますか。

・行政とはいろいろな場面で打ち合わせをしておりますが、具体的にしにはなっておりません。道の駅についての話

当初産直を始めるときに、まゆの郷・産直いなふねどちらに出荷してもいいようにとの思いがあり始めましたが、なってしまっています。現在はどちらにも出荷できるよう環境を整えております。最上地区全ての生産域の道の駅については、最上広者が出荷できるような想定、まゆの郷の道の駅は新庄市内の生産者と農家組合員が多くの産直に出荷でき所得の向上に繋がるよう支援していきます。

◎各生産部会員数の減少により、役員の割り当てが困難な状況にあります。何か提案があればお願いします。

・会計を持たないで代表として存続させ、必要などして運営させてもいうか。生産者の数は減少促成野菜のトップセール常に高い評価を得ており組合員の方へ周知しております。

◎農業従事者の高齢化や後継者がいなく農機具の老朽化等により離農する方が増えていますが、現在の状況はどのようになっていますか。今後益々高齢化が進むなかで、しっかりとサポートをお願いします。

・ここ3年1年で20名程度ずつ減少している状況です。秋起こしをすることにより根の張りが全然違ってくる、また水管理でもかなり収量に影響してくる事等、役立つ情報をお伝えしていきます。

◎農作業受託について、現在の状況はどのような状況か、また基盤は整っているのか。

・育苗・田起こし・田植その中で受ける方の作業あってなかなか対応しきその中でヘリ防除、ボー業は利用していただいて

◎業務用米つきあかりについて少しでも生産者に還元できる仕組み等考えていただきたい。

・地元の業者と協議しながらやっている品目であり、高く買っていただくよう交渉をしています。

◎経営管理委員会制度を取り入れている農協は少ないようですが、もいいのではないか。

・以前もご意見があり、検討を重ねている経緯があります。県内15JAの約半分が職員経験の方が代表を努めている状況で、金融を扱っていることもあり理事会制度では、なかなか農家代表の方が農協の代表になりにくい環境にあります。ご意見があったことは、経営管理委員会にも報告してまいります。

◎加工米が出荷できず買い入れをして出荷したが、精算内訳について説明を求めたが、その後連絡がありませんでした。

・大変申し訳ございませんでした。こちらの落ち度でありますので確認させていただきます。

◎肥料高騰について、それに対しての動向、対策をお聞きしたい。

・昨年の秋肥料、今年の春肥料については、国の肥料高騰対策、県ではそれに加えて上乗せし、県独自の支援も同時に行っています。申し込みは国の申し込みと同時に（自動的に）県の支援もついてきます。市では昨年の8月に決定していて、ほとんどが12月に申請された方に支援されています。春肥料については5月中使用までの実績報告になります。価格の上昇率については、秋肥料、春肥料で3～4割全農からの情報によると原材料の価格は若干ながら下がってきているようだが、まだ不透明なところがあります。

◎中古農機情報と何年か前から示されているが、一度も目にしたことがありません。

・中古農機がなかなか市場に出てこない状況です。事前に連絡していただき希望に合った機種があったら連絡させていただきます。推奨しているのは共同購入（トラクター・コン

◎補助金を活用したい思いはありますが、5年先の状況を考えると思いとどまることもあり、日々葛藤しているところです。

・補助金については、毎年予算を確保しておりますので必要なときに、機械導入時等に活用していただければと思います。その都度相談していただければ対応いたします。

◎食味鑑定士の資格を持っている人はいますか。

・現在資格を持っている人はいません。

バイン等）で低価格の提供ができます。相談していただけたら対応いたします。

◎栽培管理システムはいつから稼働するのですか。また使用料は発生するのですか。

・令和5年4月から稼働します。使用料については、業者と交渉中でありますが、詳細が決まり次第お知らせいたします。

◎ゆきむろ倉庫の活用について、雪の下野菜の出荷等のプランはないですか。

・買い手側の交渉が必要になってくるため、これから検討させてください。

◎産直いなふねに雪の下野菜としてキャベツ、人参を出荷しましたが大変好評で即完売していることもあるので、農協が主体となって、出荷体制を整えてもらえないか。

・組合員の皆様の意見を取り入れながら検討していきます。

◎5年間一度も水張りしない田が、令和9年度以降交付対象外水田になることに対して、行政にどのような働きかけをしたのか。

・各農協、県、全中を通して要請しています。各市町村長、県知事通じておこなっています。これまで様々な要請を行ってきましたが、今回は全国一つとなって要請をしております。

◎升形給油所の裏側の外壁が崩れていて、大変危険なので修繕してもらいたい。

・認識しておりませんでしたので、早急に対応いたします。

◎米の検査について、一昨年の米の出荷で通常は3パレットまでだが、空いているので5，6パレット荷しましたが全てでしたが、圃場等米になるのはそれぞれ違うので全て2仕方についておかしいと思うので検査の聞きしたい。

・抽出検査と毎個だと抽出検査で大けをします。米のルトンにとって心がないかみていき由としてカメ虫の由になるとその全ます。

納得がいかない し出していただき、ていただければと

◎農機具メーカーし営業にくるがきあいが浅くなっている。

・言い訳になって

◎今年営農指導員がガラリと変わり、誰に相談したらいいか困惑しています。

・組合員の方にはご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っていますが、後継者を育てるのは時間と知識も必要となります。部長2名も制で回しており、職員を募集してもこない状態で、前は冬期間に営業ができていたが、除雪機、コンバインの整備等に負われ、手が回らない状態なので大変申し訳ございませんが、連絡していただくようお願いします。

◎営農指導員についても、最近あまり顔を出してくれないので巡回していただきたい。

・申し訳ございません。巡回させていただきます。

◎農機自動車センターの部品の発注についてですが、効率化の為にも事務員の方がしてもいいのではないか。以前見積り依頼をした際、対応が非常に遅く別の業者から取り寄せたことがありましたので、気を付けていただきたい。

・現場に出向いた際、故障個所を確認しその場で発注する場合が多く、金融を扱っていることもあり、同じ部署に長期間配置できないことがありますが今後は対応できるよう指導していきます。迅速な対応を心がけます。

サポートしていきますのでご理解願います。

◎ライスセンターが老朽化していますが、新築の予定はありますか。

・現在の農協の体力で建て替えをするのは難しい状況ですが、県に要望しているのは修理をするのに予算をつけてもらう働きかけをしております。修理をしながら継続していく方針です。

◎肥料の価格について、昨年とどのくらい違っているのか、また価格の一覧表を配布していただきたい。

・昨年と比較すると3～4割程あがっています。5年度用の予約申込書には加味した価格でのせておりますが、正式に決定したら送付させていただきます。

◎フレコン出荷について、計量器等購入の補助や儲けを少なくし安く提供することは可能ですか。

・個別の補助については難しいと思いますが、まとまって対応している場合もありますので、複数人で集まってお願いできればと思います。大規模農家でないと補助を受けられないという状況は続いていましたが、それでは地域がもたないというところでＪＡグループとしても、中規模農家についても補助事業を使えるよう国の方にも要望しています。具体的にはまだできていないのですが、あてはまる補助事業があったら紹介していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

◎肥料高騰対策の振り込みはいつごろになりますか。

・確認させていただきます。

◎Ｙショップの商品が少なく、来店者も少ないようですが存続についてどのような考えですか。

・現在の状況を踏まえ、地域の方々と話し合いを行い3月で閉店という方向で進めています。今後移動購買車の充実を図り利用していただく考えです。支所の活用については今後も意見交換を行いながら考えます。

◎Ｙショップ閉店後の地区組合員に対する対応はどのような考えですか。

・現在検討している段階ですが、駐在員を配置し対応させていただく考えです。

すぐに明かりを消すようなことはしたくないので、今後も話し合いをしていきます。

◎農協合併については、現在の状況について伺います。

・合併については、合併してまだ年数が経っていないこともあり、今すぐというのは厳しいが時期がきたらとの思いはあるようです。当農協としても対等合併を目指しており職員の待遇、剰余金の状況、経営内容も整え合併に向けては準備している状況です。

部会総会

部会総会

3月17日	促成野菜生産部会	3月23日	花卉生産協議会	3月28日	和牛生産協会
3月20日	さくらんぼ部会	3月23日	にら部会	3月28日	酪農協会
3月22日	青　年　部	3月24日	ねぎ生産グループ		

和牛生産協会　本所 2F　大会議室

ＪＡ新庄市和牛生産協会（須田雄二会長）の総会が３月２８日に行われ、役員改選を含む４議案が審議され、全議案が承認されました。

役員改選では、高山浩治氏（升形）が新会長に選任されました。

令和４年度の年１１回開催されている当協会の最上市場の子牛取引平均価格は６６２千円、子牛販売頭数２１１頭と前年対比８８％と下がったものの、市場頭数維持安定に努力してまいりました。

輸入飼料価格の上昇、牛肉重要の低下など非常に厳しい情勢ではありますが、令和５年度は良質な子牛生産をより生産するために、講習会や研修会へ積極的に参加し引き続き担い手の育成に取り組んで参ります。また購買者のニーズに合うよう、出荷牛を統一し、生産者と購買者の双方に魅力ある家畜市場になるよう努力して参ります。

酪 農 協 会　本所 2F　小会議室

ＪＡ新庄市酪農協会（田宮成彦会長）の総会が３月２８日に行われ、役員改選を含む４議案について審議され、全議案が承認されました。

令和４年度は配合飼料や輸入乾草価格の高騰、８月下旬より成牛・子牛とも天童市場において飼料価格の高騰の懸念もあり全国的に安価な価格となり厳しい酪農経営となりました。

令和５年度は受精卵移植などを推進し所得向上の実現を図り関係機関と連携を取りながら環境づくりに努めていきます。

また、総会に先立ち、協会表彰が執り行われ、令和４年度最上地域乳質改善共励会で受賞した２名（清水　岸田哲夫氏　大谷地　浅野目直貴氏）に記念品を贈呈しました。

に ら 部 会　営農センター

ＪＡ新庄市にら部会（森光男会長）の総会が３月２３日に行われ、役員改選を含む４議案が審議され、全議案が承認されました。

役員改選では、加藤弘氏（升形）が新会長に選任されました。

出荷量が減少していますが、コロナ禍の最中でも単価が６１０円／kgと高単価で推移しております。また、市役所を通じ学校給食へにらの提供も行いました。

ねぎ生産グループ　営農センター

ＪＡ新庄市ねぎ生産グループ（村形了一会長）の総会が３月２４日に行われました。３議案について審議され、全議案が承認されました。

令和４年度は４月上旬より定植作業が始まりました。８月から９月の高温、特に高夜温により、軟腐病が広域的に多発し、減収の大きな要因となり出荷量は前年よりも下回りましたが、販売単価は業務系販売が活発になり前年度を上回りました。（販売単価３５４円／1kg）

今年度若手生産者１名の加入がありました。

今年度は検品当番をし、品質チェックを生産者と担当職員で行っていくことが決まりました。

促成野菜生産部会　本所2階　大会議室

ＪＡ新庄市促成野菜生産部会（今田奈穂会長）の総会が３月17日に行われました。３議案について審議され、全議案が承認されました。

今年度は、促成野菜全体で生産者や出荷数量の減少で単価高の状況が続いております。たらの芽１３２．４%、うるい１６８．０%、行者にんにく１２４．５%という結果となっています。

今年度は会員が１名新規で加入しました。今年度も継続し出荷の増加を目指し活動を行っていくことで決まりました。

さくらんぼ部会　本所2階　企画会議室

ＪＡ新庄市さくらんぼ部会（加藤大地会長）の総会が３月２０日に行われ、３議案について審議され、全議案が承認されました。３名という部会員ですが、広域での研修会へ積極的に参加し、技術及び品質の向上に研鑽しています。

花卉生産協議会　本所2階　大会議室

ＪＡ新庄市花卉生産協議会（三原誠会長）の総会が３月２３日に行われ、役員改選を含む４議案について審議され、全議案が承認されました。

役員改選では、宮川俊介氏（飛田）が新役員に選任されました。

前年度より２名生産者が脱退し、出荷数量（前年比９７．９%）と減少していますが、販売額（前年比１０２．７%）及び平均単価（前年比１０５．１%）という高単価で推移していきました。

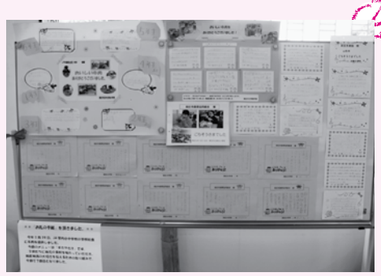
今年度も引き続き土壌消毒を実施し、今年度以上に出荷量が増加するよう計画しました。

青　年　部　本所2階　大会議室

ＪＡ新庄市青年部第５１回通常総会が３月２２日に行われ、３議案について審議され、全議案が承認されました。

小学校での「食農教育」や女性生産グループが作る「シソジュース」の原料である「芳香裏赤しそ」の栽培を継続して行っていくとともに、盟友の拡大に努めていきます。新規盟友を随時募集しておりますので、お気軽に事務局（営農経済部）金田までご相談ください。

地元産山形牛のおいしさしさに生徒らニッコリ



ＪＡ新庄市は１月19日、管内の８小中学校の給食に、最上地域で生産された山形牛約2，300人分、約65㌔の提供を行い、児童・生徒は「山形牛すきやき汁」として、美味しさを堪能しました。

学校給食への牛肉提供は今回で５回目となり、食を通じて、畜産が管内の主力産業であることを知ってもらい、農業への興味や関心を抱いてほしいとの願いを込め企画しました。

生徒からお礼の手紙をたくさんいただきました。窓口前に掲示しておりますので是非ご覧いただければと思います。

青色申告相談会開催

２月８日から10日の３日間、当ＪＡ２階中会議室を会場に、青色申告相談会を開催しました。

相談会は管内の組合員を対象に開催し、決算書、申告書作成の留意点やインボイス制度の説明などが行われました。

東京で促成山菜トップセールス

２月９日、10日、東京都中央区卸売市場大田市場にて、最上地域３ＪＡとＪＡ全農山形でつくる最上広域野菜振興協議会が、促成山菜のトップセールスをおこないました。

最上地域が生産量日本一を誇る「たらの芽」などの促成山菜の知名度向上と消費拡大を目的に初めて企画されました。

当組合からは、柿崎理事長、髙橋営農担当部長、金田営農企画係長の３名が参加し、市場関係者に「たらの芽」や「うるい」の試供品の配布を行い、市場関係者からは展示品への質問なども多く出され、商品や産地のＰＲを行いました。

ＪＡ新庄市職員コンプライアンス研修会

２月９日、10日、当ＪＡ本所大会議室を会場に、ＪＡ新庄市職員コンプライアンス研修会を開催した。

研修会では、正野内部監査室長、中川企画管理部長が講師となり、不祥事事例のＤＶＤ等を通じて、コンプライアンス、内部統制等の重要性を全職員一人一人が再確認する研修会となりました。

全国的にＪＡの不祥事が絶えない中でありますが、当ＪＡはコンプライアンスを遵守し、内部統制をしっかりと働かせることで、不祥事をおこすことができない組織づくり、健全な農協運営をおこなってまいります。

令和４年度用水稲種子配布

ＪＡ新庄市は令和５年２月17日から３日間、令和４年度用水稲種子の配布販売をゆきむろ資材倉庫で行いました。

種子は令和５年の水稲作付に向けたもので、組合員より予約注文を受けた「はえぬき」など13品種、合計50トンの配布販売を行いました。

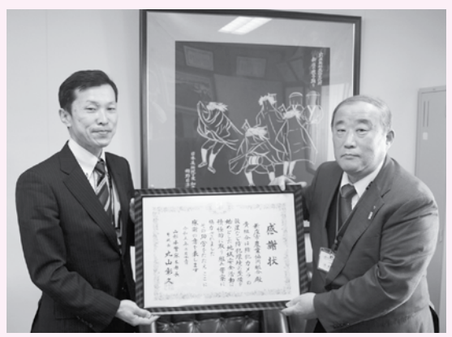
種子を受け取った組合員は「今年は米価の上昇、豊作を願いたい。」などと話しました。

山形県警本部より感謝状を授与

２月27日、当ＪＡ本所にて、山形県警本部より感謝状が授与されました。

防犯カメラの設置など防犯環境の設備を始めとした地域安全活動に積極的に取り組んだことを評価いただいたものです。

当ＪＡでは今後も地域安全活動や防犯被害防止を目的とした声かけ、防犯カメラの設置、地域見守り隊としての活動を継続して参ります。



お知らせ

「インボイス制度」が始まります

どうなるの？

「インボイス制度」（適格請求書保存方式）とは、令和5年10月1日から始まる消費税に係る制度です。

この制度の開始により、消費税の仕入税額控除計算に「適格請求書」が必要となります。適格請求書は「適格請求書発行事業者」（以下適格事業者）が発行でき、「売り手」は「買い手」からの求めにより発行する義務が生じます。適格事業者になるには登録申請する必要があります。

それでは、農産物を販売する農家にはどんな影響が考えられるでしょうか。

免税事業者（売り上げが一千万円未満）の場合は適格事業者となる義務はありませんが、適格請求書を発行することができません。適格事業者でない取引先から購入する事業者は仕入税額控除できなくなり納税額が増加します。この場合、購入者は安く購入することが予想されます。

「特例」とメリット

①**農協特例**（無条件委託と共同計算）…米をＪＡ出荷する場合は、無条件委託と共同計算を行うため、ＪＡが農家の代わりに適格請求書を発行できる特例が適用されます。ＪＡ以外の米集荷業者や、農産物を直接取引する飲食店等は「買取」が一般的で、農協特例は適用できません。

②**卸売市場特例**…販売委託した野菜等は卸売市場を通して販売するのが一般的で卸売市場特例が適用され、卸売市場が農家の代わりに適格請求書を発行することができます。

免税事業者は、「特例措置」を活用することで適格事業者の申請や適格請求書の発行手続きを回避するメリットがあります。

取得状況の調査にご協力を！

インボイス制度の開始に備えて、ＪＡ出荷者の適格事業者取得状況を調査し対応して参ります。米出荷契約や各生産部会の研修会の際に実施する予定です。

ご理解とご協力をお願いいたします。

生産者×JA共同購入コンバイン始まる

全国の生産者の需要結集が低価格実現の大きな力に

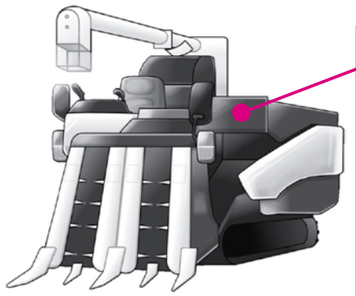
購入意向確認活動実施中【営農経済部 農機センター】

ＪＡグループでは共同購入コンバイン（4条刈50馬力クラス）にかかる全国の生産者の需要結集にむけ、購入意向を確認する取り組みを実施しております。農機センターでは4月から6月を重点期間として取り組みます。

農業機械の共同購入とは、ＪＡグループで生産者の需要をとりまとめ、全農が生産者の代理人として一括発注・仕入をおこなうことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。

大型・中型トラクターは、全国の生産者の皆様の共同購入への結集により、標準機と比較して約2割から3割の低価格を実現できました。第3弾として、主要3機種（トラクター、コンバイン、田植機）のなかで、最も利用経費の高いコンバイン（全農調べ）について、国内出荷台数およびＪＡグループ取扱台数が多い機械（4条刈50馬力）を選定のうえ、全国7千件以上の生産者アンケートおよび稲作生産者との意見交換をもとに必要な機能を厳選し、令和4年9月に農業機械メーカーへ開発要求をおこないました。

令和4年11月から令和5年6月にかけて、生産者の需要結集にむけて購入意向を確認する取り組みをおこなっており、ＪＡ新庄市農機センターでは4月から6月を重点期間として取り組みます。この活動により、共同購入コンバインの購入意向を多くの生産者に確認し、その需要を背景に価格メリットを還元していきます。



共同購入コンバイン（イメージ）

－ 要求した主な機能 －
- ４条刈50馬力クラス
- 車体水平制御
- 幅広クローラ
- 刈取オートクラッチ
- 掻き込みペダル・スイッチ
- オーガ自動制御（旋回、収納）
- 大型後方ミラー（左右）
- １日作業可能な燃料タンク

※概ね６時間程度を想定

取り組みスケジュール

内　容	時　期
購入意向の確認（重点期間）	令和４年１１月～令和５年６月（令和５年４月～６月）
製品発表	令和６年１月
出荷開始	令和６年４月

お知らせ

コンビニ本合海店閉店のご挨拶

日頃より当農協の事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、当ＪＡのコンビニ本合海店につきましては、平成29年９月の開店依頼、皆様にご愛顧頂いて参りましたが、本年３月末を持ちまして閉店いたすことになりました。

本合海地区の皆様を中心に温かいご支援のもとでコンビニ事業をして参りましたが、時代の変換の中でその役割を終えたものと考えております。

皆様の永年にわたるご愛顧に心から感謝申し上げます。

また、移動購買車は今後も継続して巡回しますので、ご利用のほどよろしくお願いします。

尚、４月１日より、本合海相談所として地域の皆様の相談窓口として各種ご相談、担当部所への引継ぎ所として営業致しておりますので、ご利用の程よろしくお願い申し上げます。

略儀ながら書面を持ちましてご挨拶申し上げます。

閉店セールの様子▶

令和６年度 JA新庄市職員募集について

1．募集職種　　総 合 職
2．採用予定人員・資格
　大学・短大（令和６年３月卒業見込者）、高校（令和６年３月卒業見込者）　２名～
3．募集期間
　第１回　令和５年４月１日㈯～令和５年６月11日㈰
　　【消印有効】（大卒・短大）
　第２回　令和５年９月～（高校卒業見込者）予定
4．試験期日
　第１回試験　令和５年６月23日㈮（大学・短大卒業見込者）
　第２回試験　令和５年９月中旬頃（予定）
5．試験内容　　総合適性検査（能力検査・性格検査）、面接
6．応募必要書類
　履歴書(学校成績証明書、卒業見込証明書‥内定、内々定後)
7．待　　遇
　⑴　給与（当組合の給与規程の定めるところによる）
　⑵　健康保険、厚生年金、雇用保険、労働保険等

升形上２支部の田宮慎吾さんより、綺麗なストックをいただきました。

ありがとうございました。

令和5年4月1日付 人事異動

新　職　名	氏　名	旧　職　名
（部長職）営農経済部営農経済部長	髙橋　秀典	営農経済部営農担当部長
（次長職）営農経済部営農担当次長	早坂　洋一	営農経済部営農企画課長
営農経済部経済担当次長	大友　英生	営農経済部次長
（課長職）営農経済部販売課長	森　　壮志	営農経済部生産課長
企画管理部総務課長	八藤後　あゆみ	企画管理部審査係長
（課長補佐職）信用共済部共済課長補佐	今田　裕子	信用共済部総合推進課長補佐
営農経済部生産課長補佐	三原　　瞳	営農経済部販売課長補佐
（係長職）営農経済部経済課経済係長	田中　美里	信用共済部共済課保全係長
信用共済部総合推進課総合推進係長	斎藤　優子	信用共済部貯金課貯金係長
信用共済部融資課融資係長	相澤　有香	信用共済部貸付課貸付係
営農経済部販売課販売業務係長	設楽　杏奈	信用共済部共済課共済係長
信用共済部共済課共済係長	加藤　岳大	信用共済部共済課共済係
（係職）　信用共済部総合推進課総合推進係	矢作　正紀	営農経済部生産課生産係
信用共済部共済課共済係	佐藤　耕太郎	信用共済部総合推進課総合推進係
営農経済部販売課販売業務係	沼澤　拓斗	営農経済部営農企画課営農企画係
営農経済部経済課経済係	豊後　早苗	営農経済部生産課生産係
（相談役）営農経済部生産課相談役	本間　　厚	営農経済部経済担当部長
企画管理部本合海相談所相談役	浅沼　純一	営農経済部生活課生活担当相談役（本合海）
営農経済部農機自動車センター農機業務相談役	後藤　正広	営農経済部生活係（産地直売所）パート

営農経済部経済課経済係（見習い）	上石　敦士	新規採用
信用共済部貯金課貯金係（見習い）	山﨑　　柊	新規採用
企画管理部審査課審査係（見習い）	庄司　麻菜	新規採用
営農経済部営農企画課営農企画係（見習い）	大﨑　稜太	新規採用
信用共済部融資課融資係（見習い）	荒川　由里	新規採用

令和５年度　連休中の業務体制について

	4/29㈯	4/30㈰	5/1㈪	5/2㈫	5/3㈬	5/4㈭	5/5㈮	5/6㈯	5/7㈰
事務所	休業		営業 8:40～17:00		休業				
ＡＴＭ	休業		営業 8:45～18:00		休業				
資材倉庫	営業　8:30～18:00								
農自センター	営業　8:30～18:00								
産直いなふね	休業		営業　9:00～18:00					休業	
移動購買車	休業		営業		休業				
中央ＳＳ	営業　7:30～19:00								
升形ＳＳ	営業 8:30～18:00	休業	営業 8:30～18:00		休業	営業 8:30～18:00			休業

＊ コンビニＡＴＭについては、8:00～21:00までの利用となります。
営業時間外・休日などは、右記の電話番号までご連絡ください。

土・日・祝日・葬祭ご連絡先 ☎ 090-5597-6226

理事会・経営管理委員会報告　協議事項

第11回理事会　令和５年３月２日㈭

(1) 令和４年度第２次決算見込みについて
(2) 令和４年度購買品の評価損処理について
(3) 令和４年度農機自動車センターの評価損処理について
(4) 令和４年度期末手当の支給（案）について
(5) 中期経営計画の設定について
(6) 令和５年度事業計画（案）について
(7) 令和４年度地区座談会の開催（内容）について

第12回理事会　令和５年３月23日㈭

(1) 令和４年度決算見込み（最終）について
(2) 中期経営計画の設定について
(3) 令和５年度事業計画（案）について
(4) 内部統制システム基本方針の改定について
(5) 内部監査規程の改正について
(6) 農業用軽油・乾燥機用灯油購入費への支援について
(7) ふるさと便の取扱について

第10回経営管理委員会　令和５年３月２日㈭

(1) 令和４年度第２次決算見込みについて
(2) 令和４年度期末手当の支給（案）について
(3) 令和５年度事業計画策定に係る課題等について
(4) 中期経営計画の設定について
(5) 令和５年度事業計画（案）について
(6) 令和４年度地区座談会の開催（内容）について
(7) 令和６年度職員採用について
(8) 新庄市農業委員会委員の推薦について
(9) 大地ライフサポート株式会社の令和４年度決算見込みについて
(10) 大地ライフサポート株式会社の令和５年度事業計画（案）について

第８回監事会　令和５年４月３日㈪

(1) 令和４年度下期決算に伴う現品棚卸監査について
(2) 令和４年度下期決算監事監査日程・担当表（案）について
(3) 令和５年度監事監査計画及び監査方針（案）について
(4) その他

第11回経営管理委員会　令和５年３月24日㈮

(1) 利益相反行為による経営管理委員会承認案件について
(2) 令和４年度決算見込み（最終）について
(3) 中期経営計画の設定について
(4) 令和５年度事業計画（案）について
(5) 令和５年度コンプライアンスプログラムの設定について
(6) 内部統制システム基本方針の改定について
(7) 大地ライフサポート株式会社の令和４年度決算見込みについて
(8) 大地ライフサポート株式会社の令和５年度事業計画（案）について

企画・制作　共栄印刷株式会社
この印刷物は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

令和5年度　JA新庄市 新採職員を紹介します。

❶氏名　❷趣味・特技　❸挨拶　❹配属先

❶上石 敦士（あげいし あつし）
❷ランニング
❸新庄市に住んでまだ3年と不慣れな点も多くありますが、地域の皆様へ貢献できるよう努めて参りますので、何卒よろしくお願い致します。
❹営農経済部経済課経済係

❶庄司 麻菜（しょうじ まな）
❷スポーツ観戦、料理動画を見る
❸明るく笑顔で頑張ります‼
❹企画管理部審査課審査係

❶荒川 由里（あらかわ ゆり）
❷音楽を聴くこと
❸わからないことがたくさんあり、ご迷惑をおかけすることもありますが、早期に戦力になるよう努めますのでよろしくお願いします。
❹信用共済部融資課融資係

❶大崎 稜太（おおさき りょうた）
❷ゲーム・剣道
❸わからない事だらけなので、進んで勉強をし、出来る事を全力でやっていきます。
❹営農経済部営農企画課営農企画係

❶山崎　柊（やまざき ひいらぎ）
❷音楽を聞く、お出かけ、美味しいものを食べに行く
❸一生懸命頑張ります！よろしくお願いします。
❹信用共済部貯金課貯金係

お疲れさまでした m(_ _)m

年度末にあたり、5名の職員が退職されました。
ＪＡ事業に対する永年に亘るご尽力に多大なる感謝を申し上げます。

令和５年２月２８日付　退職

営農経済部購買課購買業務係長	早　坂　和　恵	勤続年数　５年９カ月

令和５年３月３１日付　退職

営農経済部販売課長	髙　橋　達　也	勤続年数　２０年
営農経済部購買課購買係長	井　上　裕　樹	勤続年数　１１年
営農経済部農機自動車センター農機業務相談役	中　鉢　力　也	勤続年数　１４年８カ月
営農経済部販売課販売業務係（契約）	井　上　くに江	勤続年数　４年９カ月
営農経済部購買業務係（パート）	柴　田　幸　子	勤続年数　６カ月

編集後記

４月は別れと出会い、終わりと始まりの季節であり、不安と希望が交錯する月ではないでしょうか。皆様と皆様の家族が健康で、素敵な出会いと希望に満ちた令和５年度となることを切に願います。
今年度もよろしくお願いたします。

■農・自センター／☎23-7500
■産直いなふね／☎22-4928
■営農センター／☎23-7501
■本合海支所／☎26-2311
■Vショップ本合海店
■升形給油所／☎29-2815
■中央セルフ給油所／☎22-7773
■ゆきむろ倉庫／☎23-7502
■資材倉庫／☎23-7505